

社会を明るくする運動に 皆さんのご理解とご協力を

7月は、社会を明るくする運動強調月間です

社会を明るくする運動(社明運動)は、すべての国民が、犯罪や非行の防止に対する意識を高めるとともに、罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築いていくとする運動です。

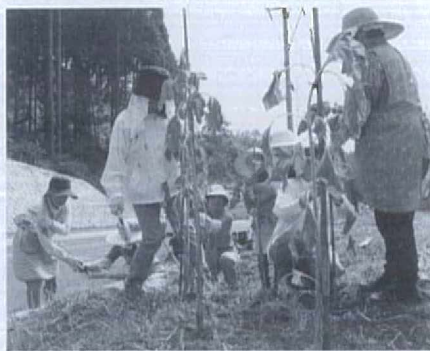
社明運動の強調月間である7月は、全国一斉に運動が展

開されます。佐伯市でも、佐伯保護区保護司会や更生保護女性会などが中心となつて、「第55回「社会を明るくする運動」佐伯大会」をはじめ、様々な取り組みが行われます。この機会に、犯罪や非行のない明るい社会の実現に向け、自分たちにできることを考えてみませんか。

○ひまわりのように、まつすく子どもたちが成長するよ
うに

社明運動強調月間にあわせ、市内の更生保護女性会の皆さんが、各地でひまわりの苗植えを行いました。

このひまわりには、夏の日射しを浴びて、太陽に向かってまつすく伸びるひまわりのように、子どもたちが、明るく元気に育つてほしいとの願いが込められています。



宇目での苗植えの様子

第55回

「社会を明るくする運動」 佐伯大会

皆様のご来場をお待ちしています。

- とき 7月13日(水) 14時~16時30分
※13時30分から受け付け
- ところ 和楽 大研修室
- 基調講演
「スポーツを通してゼロから夢の実現に向けて」
講師：溝畑 宏さん(大分トリニータ社長)
- 入場料 無料

《問い合わせ》

社会を明るくする運動佐伯地区実施委員会
(市役所社会福祉課内、☎22-3974)

「家庭の日」に 家族団らんを

家族のあたたかいふれあいは、お子さんの健やかな成長に大きな役割を果たします。しかし、私たちの毎日は、忙しさに追われ、ともすれば一家団らんの機会が少なくなりがちです。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。この日によせて、家族みんなで楽しく過ごしてみたいかがでしょう。

佐伯市・佐伯市青少年育成市民会議

シリーズ「人権を考えよう」

第1回「差別の芽(その1)」

今号から新しく始まったシリーズ「人権を考えよう!」。このコーナーで、これから皆さんと一緒に「人権」について考えていきたいと思えます。

第1回は「差別の芽」と題して、差別がどのようにして生まれるのかを考えます。まずは、皆さんにちょっとしたクイズを出題しますので、ぜひ考えてみてください。

父親と子どもが、交差点を横断していました。そこへ、信号無視をした車が突っ込んで、二人をはねました。父親は即死、子どもも意識不明の重体です。子どもは直ちに大病院に運ば

れ、世界的権威の外科医に緊急手術の連絡が入りました。連絡を受け駆けつけた外科医は、運ばれてきた子どもを見て叫びました。「これは私の子どもだ!」さて、死亡した父親とけがをした子ども、そして世界的権威の外科医とは、一体どういう関係でしょうか。

このクイズは、人権研修等でおなじみですから、すでに答えがお分かりの人がいるかも知れません。3人の関係は、世界的権威の外科医が母親であったとすれば、お分かりになるでしょう。次回は、このクイズが人権とどう関係するの考えます。